



アカオチ

んん…んんっ
あなたはあの時の…ひッ!?

今朝、登校中の○美に声を掛けてきた男達が
下半身を丸出しにして立っていた
あの場は無視したもののそれ以降の記憶がない

○美は手足を拘束されており見知らぬ部屋にいた
咄嗟に拉致されたと気付く

くっ…私にこんなことして
ただで済むと思わないでしようね

怒りと恐怖で小刻みに体が震え
やや青冷めた表情で
顔を歪ませながら睨みつけてくる

んん…綺麗な足だね撫でているだけで
おじさん射精してしまいそうだ

触るな変態! 寄るな…寄るな!

その強気な表情そそるねえ
おじさんもう我慢できない



いやあああああ
い、痛い、痛い、抜いて抜きなさい！

ズチュ

ズチュ

うっ きつつ 良い締め付け具合 こりやたまらん
ほら ○美ちゃんのオマンコが
おじさんのオチンチンすっぽり啜えこんでるよ

痛いっ 痛い！ 気持ち悪い止めて
誰か 誰か助けて！

ふう、ふう…こんな所誰も助けに来ないよ
言うこと聞けば肌に傷なんて
つけないから大人しくしろ



そろそろいきそう

○美ちゃんの中になつぷり射精するからな

や、やめっ

ド、ドク ドク ドク

ドク

ドク

ドク

あ、あああ……くっ……こんな……こんな……
くっ死ね……死ね！死ね！

ううっ ビクビクッ

うわ 中に出しすぎ 後の奴の事も考えて出せよ

くっくっくっ

びび

びび



ズブツ！ズブツブ...

痛っ...やめ...やめなさい...やめてええ！

はあはあ...なんてきつきつなんだ
数往復したただけで出ちまいそうだぜ

ズリユ
ズリユツ

ぐっ...もうやめえ...つく
気持ち悪い...いやっ...いやあっ！

くっ、おとなしくしないと
今撮影している映像学校中にばらまくからな
変な気は起こすなよ

ぐっ...ぐっ...ぐっ...16...

ズ
ズ

ズ
ズ



ほくら初めてのオチンポの味はどーよ

グ
んんん おえ ぐちゅ おげええ げええええ

チンポ全体を口に捻じ込まれ、喉の奥まで飲み込み
嘔吐感がこみ上げる

くれぐれも噛み切るなんて行為に出るんじゃないぞ

どうなるかわかってんだろうな

ひやめろ…苦しい…うぐ…

もう抵抗が弱まってきてるぞ

気持ちよくて仕方ないんじゃないのか

ググ ジュブズリュズリュ (く…いつ…)

男を刺し殺すような視線で睨みつける

くくいつまでそんな状態でいられるか

これはこれで楽しみだ

抵抗も空しく絶望と拒絶感で思考が麻痺していく

ズ
ズ

ズ
ズ

ズ
ズ

143

あれから大分経ったがおじさん全然萎えないぞ
それだけ○美ちゃんが魅力的なんだな

ほら、お尻こっちに向けて

もはや抵抗する気もなく言われたとおりにする○美
怒張したチンポをゆっくりとオマングコにあてがい
それを見た彼女の眼が少し強張った

おほおっ いやらしく尻突き出しちゃって
そんなに我慢出来なかったのか

ふん…あんたが言ったんでしようが

今日初めてセックスしたのにもう寛容的？

今時の若い子は皆そうなんかね

それとおじさんが初めての相手だから？

くっ…うっ…あああ

くちゅり くちゅり…くちゅりくちゅり

入り口に擦り付け○美の反応を見る

何度も擦られ徐々に快感が芽生え男の顔を

憎しみと困惑が混ざった表情で睨み上げてくる○美の

瞳の奥に艶やかで淫靡な光を纏っていた

んっ ああ…いやあ…

オマングコから溢れ続ける愛液が

チンポや太ももを伝い落ちていく

ねっとり流れ落ちた粘液はやがて

シートへとたどりつき幾重にもそのシミを広げていく

そのせいか、いつしか部屋の中は

ムワツとした雄と雌の匂いに満たされていた

ズン

ふん！ふん！ふん！

男は夢中で膣の最奥にチンポを叩きつけ快感を貪り
腰とお尻のふつかり合う音が部屋中に響く

あっ あっ あっ こ、声が…んん…出ちゃッ…うっ…ああっ

おじさんと○美ちゃんの
繋がっているところが丸見えだよ
チンポぱっくり啜えこんで
美味しそうに吸い付いて…

みつ 見るな…ああ…だ、だめえ…

汁までこんなに垂れ流してすっかり淫乱だな

ち…ちがう…うっ…はあっ

柔らかな褌がチンポ全体に絡みつき
もつと奥へ奥へと誘われる
亀頭全体からカリの段差までその褌が
うねうねと絡みつくのを感じ
ゾワゾワとした快感が気に背筋を駆け上った

ズ
ッ
ッ

ズ
ッ
ッ

パン

パン

パン

まったく、最近の〇〇生はけしからん
こんなにエロい体しおつて……うっつ

プニエヌチユ グニエーグニエー！

そう言いながらチンポを

ふたつの乳房に挟みこんだ

男はゆっくりと上下運動を始める

むにゅと密着したぶるぶるのおっぱいに埋められた

チンポは擦りあげられるたびにピクピクと跳ねている

んぐっ……んんん……

こりやたらん

ッポ

ッポ

はあ……はあ……うっつ……こちも奥まで啜えて

舌を絡めながら「んぐんぐん」と喉の奥へと

チンポを咥え込んでいく。

時折、カリから裏スジを通り尿道口を

甘く刺激してくる舌に

男はピクンと全身を奮わせた

ジュラッ……ジュボジュボッ……

んぐっ……んんん……
ぐぶっ……えぐ……うぶ……

ん

へへ 今日が初めてだったのに随分上達したな
オチンチンがとろけそうだ……

ん

ッポ

ッポ

ッポ

こつこつした指がゆっくりとオマンコの表面を滑っていく
割れ目から溢れ出す甘い蜜が擦りあげる指に絡むと
にちやにちやとエッチな水音を周囲に響かせる

グチユコクチユクチユ 又チヤ

もうこんなにぐしょぐしょだよ

○美ちゃんのオマンコはほんとにえっちだな

んあ…んんっ…くっくっ…

いや…あ…ああ…んんっ

おじさんの指はどうかかな？
これはこれで気持ち良いだろ？

にゆるりとオマンコに滑り込んだ指
が膣内をくちゆくちゆとかき回しながら
クリトリスはさらに激しく刺激される

ガク ガク ビクビクッ

ひゃあああ…あつあつはあ…んっ…しんなの…んっ
いまっまでに…あん…くらべ…たらっ…んんっ
ぜ…ぜんぜんへいき…あつ…なん…だか…ら

へ やっぱりの美ちゃんはオチンチンの方が好きなのかな

ちが…っ…っ…はあん…



ビクッビクッとチンポが震えるたびに尿道に残ったザーメンが勢いよく射出される

執拗に膣に射精され続け○美は熱い吐息を零しながら全身の力が抜けた、途端

ツヨポツヨポ ツヨロロロ

きらきら黄金に輝くおしっこが男の体に降りかかるもはや途中で止める事も叶わない

いっいや...ああああああ...ひっく...ひっく

へへ 我慢出来ずにお漏らししちゃったか？
おじさんばかり出してたからな
○美ちゃんも沢山出していいんだよ
おじさんが全部飲んであげるからね
んぐんぐ

んっ...ああ...んんっ...ああ...あ...

ブルブルッ

涙を浮かべ眉根を寄せ息を荒げている姿を見ると男の嗜虐心を非常にそそりさらなる興奮を呼んだ



ズキ

ズキ

今度は○美ちゃんの好きなように動いていいから
そうそう ゆっくり腰を落として

チユブ グチユ・ズリュ・ズリュ
んんんっ…はあっ…んっそ…

ズキ
ズキ
ズキ

少しずつ腰を下ろしてくる○美のオマンコの中を
熱い肉棒が埋められていく。
かなり濡れているとはいえ先程の余韻があるのか
時折痙攣をおこし動きがぎこちない

はあ…うっっ…ああ…んっくっ

はあはあ…大分素直になってきたな
おじさんも気持ちよくて嬉しいよ
よし おじさんが動くから
○美ちゃんはそのままじっとして

強い締め付けに今にもイキそうになるが
まだまだ快感を貪りたいと気合を入れて腰を突き上げる

…深い…深い…深いのおおお
んはあっ

○美も無意識のうちに腰を動かして
快感を貪るように行為に没頭していた

○美の動きに合わせて
深いストロークでの挿入を
繰り返すことにより男のチンポにも
腔内の細かい襞の全てが
絡み付きゾクゾクとした
刺激が伝わりあつという間に
オマンコの中に果てる

ドビュッビュクビュク！ ビュッ！
ドブドブドブドブ！

んあああ……はあっ……
はあ……はあ……ま……またなかにいっ
なか……に……で……る……はあ……はあ

ふう……ふう……もうだめだ
犯りすぎてチンポが枯れそう



それじゃあ今度は私の晩だな

いつの間にか息を荒くしている
男が増えていた

予定通り○美ちゃんを犯していると連絡がきて
居ても立っても居られず
仕事放りだしてきちゃったよ〜ふっふっ

そう言っていると男はいきなり全裸になり
チンポを○美の前に曝け出す

ひい……ひい……

チュ

ちんぽ

ふう……ふう……

○美ちゃんの前にオチンチン
出してるだけで射精しちゃいそう

ぱんぱん

この日のためにいっぱい溜め込んでたからね
パンパンに張った玉袋から優しく愛撫して
んぐ……んぐ……んぐ……ちゅぶ……
ちゅぽっ……ちゅっ……ちゅううう……

んっ……くさい……

はあはあ……こんな感じれふか……

おおあ……いい感じ……

○美ちゃんされてると思うと
瞬間でイキそうだ ううっ

チンポを片手でシコシコと扱きながら
タマを吸い上げられ引張られると
痛みとも快感とも言えぬ不思議な感覚に襲われる
口の中でコロコロと舌でタマを転がしながら
じゅるると全体を吸い上げてくる
男はギンギンに勃起したチンポを頬にこすりつけてきた

うっうっ とりあえず…っっっ発目出すぞっ…

腰の辺りが甘く痺れ始め亀頭の先端から
白濁の黄みがかつた精液が勢いよくほとばしり
○美の身体に降り注ぐ

ビュルルッ
ピュッ

ツッポ

い…いやあ…熱い…

ああっ ああ 射精が止まらん…
うっうっ

ビュルルルッ
ビュッ
ピュッ…

放出を続ける熱い精液は雪のように降り
○美の色白の肌をべっとりと付着した精液で更に白く染めていく



今度は口を大きく開けて
大丈夫大丈夫、優しくするから

はあはあ…無理…んっ…

こんなに…はあはあ…こんなに大きい無理…

唾液でねっとり、べとべととした口を
ゆっくり開かせチンポを
喉へめがけ直進させる

ジュポ

んんんっ…んぐんぐ…じゆるっ
げほっ…んっ…んっ…んっ

思わず腰が浮いてしまうような
強烈な快感に支配された

んほお…こりやたまらん！
ほら先端も念入りに舐めて

んぐっ…んふう…んっ

レロ…レロレロ…
レロ…レロ…レロレロレロ

激しくバキュームされると
まるで腰の辺りを全て吸い込まれて
いるような快感の錯覚に陥る

ジュポ…ジュポ…ジュポ…ジュポ…

あああはあっ…○美ちゃんフェラ上手だね
おじさんが来るまで…体何回咥えこんだんだい？
んっ…いやっ…そんな…んっ…してない…



○美は激しく頭を前後しながらぐるぐる舌を走りまわらせる舌先が尿道口をプチュツと刺激した瞬間我慢できずに熱い塊が腰から一気に放出された

うっはあはあ…イクッ
飲んで…ああ…あああつ…!

ド。ジュッ…ジュッジュッ…
ビュク・ビュク…ビュブツ…!

幾度となく波が押し寄せするようにドクツドクツと喉の奥に精液が吐き出されていく
○美は口内に残った熱いザーメンをコクコクと喉を鳴らして飲み込んだ

後ろからゆっくりと柔らかかなオマンコの中へと
熱くたぎったチンポを挿入していく
飲み込んでいく膣口は火傷しそうなほどに熱く
愛液で溢れかえっていた

ぬおおおっ気持ちいい
気持ちいいよ○美ちゃん!

ずぶずぶと入った途端に抽送運動が始まり
膣内の肉がチンポを飲みこむ
さらに奥へとチンポを捻じ込むたびに快樂の波が
全身を押し寄せ互いを狂わせた

ひゃあっ……ひび……ひび……
ん……くっ……す……ん……おっきい……あ……あ……
ズリュ ヌリュ……パン……パン……パン……

尻肉を鷺掴みにして後ろから突くたびに
熱いチンポは彼女のオマンコに深々と突き刺さった
最奥の子宮口を何度も貫くたびに
膣壁がぬらぬらと絡みつきいやらしい刺激が伝わってくる

ああああ……だ……めええええ……あっ……あっ……
おかしく……んあっ……おかしくなるのおお!

かほ





ビュッ

グイッ

グッ

ビュッ

グッ

出るー中に出してやるー
うあっ..うおおおおおっ.....

フュン..フン..フン..フン.....

あっ..ひあっ..あっ..あっ..すっ..すっ..

あああああ..うぐ..うぐ..うぐ..うぐ.....

まるで弓の様に身体を反らせた○美は
今までにない大きな喘ぎ声を上げ全身を奮わせた

ふっ..ふっ..ふっ..すっ..すっ..調教されちゃって
ちよつと残念だけどこれから
たっ..ぶり可愛がつてあげるからね
ンチユッ..

んん

んん

—数カ月後—…ピチャピチャといやらしい水音が響き渡る
あれから○美はすぐに妊娠
今でも男達に陵辱の限りを尽くされていた

はあ はあ…○美ちゃんもつと口窄めて…

んっ…んっ…

ズリユルルル ジュボツ ジュボジュボツ

ああ…ああ そうそう いいよ うっ

大股開きにさせプリプリしたお尻を
腰に密着させるようにズブズブと
チンポを膣奥へと沈めていく

夢中で腰を振るたびに
大きなお腹がゆれ
ボテ腹の美少女を犯すと言う事に、
より性的興奮を強く煽る

ズチュッ！パン！パン！ズチュズチュ！

おじさんと○美ちゃんの子だといいな
このお腹の中に我が子がいると思うと
興奮がおさまらないよ

激しい快感の波をひたすら受け
生気の宿っていない瞳で虚ろな表情を見せている
挿入を繰り返すたびに小刻みにあがる
喘ぎ声はもはや別人だ



んふふっ 最低なおじ様 ねえ…早くお腹の中
精子でいっぱいにしてえええ あっ…ああっ…

はあはあ 喉に出すぞ
こぼさずしっかり飲めよ
んっ おおおおお！

ほらっ こっちも下のお口にたっぷり飲ませてやるよ
うっ…ぐっ ぬおおおおお！

プジュッ…ドジュッ ビュク ビュク…
ビュルッ…ジュッ ビュッ… ドプ…ドプ…

ビクッ…ビクビクビク

んっ… じゅっ…じゅるる…んぐ
じゅっ…じゅっ…

はあ…はあ…喉も…
オマンコも…んっ せんぶ…せんぶ…
きもじいっ…もっど…
もっどちよっ…んあっ…
んぐんぐ…ちゅぽんっ…

ジュッ

ジュッ

ジュッ



んっ…ジユプ えう ちゆるっ

ジユプ…ジユルルル

ジユホ

ズズ

ジユ

お…おお…いいかんじだ
先端念入りに舐めて

龟头をにゆるつと口内に含むと
強く吸い上げながら尿道口と裏スジ
尖らせた舌の先端で攻め始めた

ズズ

ズズ

ズズ

あっ…んっ…んっ…んっ
あんっ…もっ…もっ…もっ…オチンチン突きさしてえ…

左右から乳肉をギュツと押し寄せチンポを
圧迫しながらガンガンに腰を突き動かしていく
肉をぶつけ合うたびに零れるおっぱいが
前後にブルンブルンと激しく揺さぶられていた

うおっ…おお…はあっはあっ
にしても毎日求めるなんて
エロイ妊婦さんだぜ
こちらら全然飽きないから
良いんだけどよ

うっ イクッ！
綺麗な顔にぶっかけてやる

ピクピク……ピク……ピク……ピク……ピク……

チンポをその中心に挟みこんだ胸の谷間から勢いよく精液が噴出するむにゅつと密着したふりふりのおっぱいは精液にまみれてらてらに、埋められたチンポ乳肉の中でピクピクと跳ねている

あぁっ……あぁっ……んっ あはっ
おちんちん……んっ 凄……ピクピクしてる
もっ……あんっ……もっ……沢山浴びせてえ

顔、胸に吐かれた精液を指ですくいあげると甘い蜜を舐めとるかのようにいやらしく舌を出した
たったいま精を吐き出したばかりだというのに
その姿を見た男達のチンポは
再び首を持ち上げた

あつ...はっ...はっ...んんっ
んっ...す...っ...硬い...いんっ...

ほらそつちの手もちやんとし...いてあげないと

チンポの先端から溢れ出す我慢汁を指で
すくって肉棒全体に塗りたくっていく

シッコ...シッコ...シッコ...

んちゅっ...ぴゅが...

じゅぶじゅぶ...

ぬちやぬちやといやらしく手で
擦り上げる下でチンポがオマンコへと
激しく出たり入ったりしている

もう○美ちゃんムスシの膣内シにしか排泄出来ないわ
何度でも孕ませてあげるからね

んはあつ...うれしい...あつ...あつ
何度でも産むからいっぱい
精子ください...んあつ...ああつ...

あつ...あつ...あつ...イクッ...イツちやう!
んっあつあつイク...イクイクイクウウウウ!

ビュル! ビュブビュブッ!
ドピュッ! ビュクビュクッ!
ドプッ ドプドプ

彼女は髪を振り乱し
撒き散らす汗をキラキラと
輝かせながらチンポの上でよがり狂っていた

ああんっ...熱い...んっああっ
いっぱい流れ込んでくるう...んっ
きもち...いっ...いい...はあつ...

膨張したチンポからこれ以上ないくらいじゅくじゅくに
潤っているオマンコへとザーメンが注がれていく
一滴残らず搾り取るうとうねうねと蠢く膣内がイッたばかりの
チンポに更なる刺激を与え続け射精の波はいつまでも続いた

ふう...ふう...これからもずっとずっと
ハメ続けてあげるからね

